

平成30年8月20日

魚沼市議会議長 森 島 守 人 様

福祉文教委員会

委員長 佐 藤 肇

福祉文教委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 教育委員会所管施設のブロック塀について
(2) 小中学校冷房設置工事について
(3) その他

- 2 調査の経過 8月20日に委員会を開催し、上記事件について調査を行った。
教育委員会所管施設のブロック塀について及び小中学校冷房設置工事について、執行部から説明を受け、質疑を行った。
その他で、入広瀬中学校・守門中学校の統合準備状況について、湯之谷小学校ランチルームの結露について、広神プールについて、うおぬま・米ねっとシステム更新等について、執行部から報告を受け、質疑を行った。また、各小学校ランチルームの状況について、質疑を行った。

福祉文教委員会会議録

1 調査事件

(1) 教育委員会所管施設のブロック塀について

(2) 小中学校冷房設置工事について

(3) その他

- ・入広瀬中学校・守門中学校の統合準備状況について
- ・湯之谷小学校ランチルームの結露について
- ・広神プールについて
- ・うおぬま・米ねっとシステム更新について
- ・行政視察について
- ・その他

2 日 時 平成30年8月20日 午前10時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 浅井宏昭、星野みゆき、大平恭児、佐藤 肇、関矢孝夫、本田 篤、
(森島守人議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 梅田教育長、金澤健康課長、堀沢教育次長、吉田地域医療対策室長、
風間学校教育課長

7 書 記 櫻井議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (10:00)

佐藤委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから福祉文教委員会を開会します。これから本日の会議を開きます。

(1) 教育委員会所管施設のブロック塀について

佐藤委員長 日程第1、教育委員会所管施設のブロック塀についてを議題とします。先般、全員協議会でも市内公共施設のブロック塀については報告があったところではありますが、教育委員会の学校等についてのその後の状況について、執行部の説明を求めます。

堀沢教育次長 それでは、教育委員会所管施設のブロック塀について現況を報告させていた

できます。まず、学校教育課所管の小出中学校の駐車場入口のブロック塀につきましては、撤去すべく9月議会に補正予算を要求させていただきました。生涯学習課所管の上条運動広場、これは旧上条小学校のネームプレート入りの門ですが、西側階段部分の2基は小出中学校同様に撤去、南側入口の欠損部は修繕ということで、一括して補正予算要求をさせていただきました。子ども課所管のひがし保育園園庭脇の墓地に隣接した高さ60センチのブロック塀につきましては、欠損部を修繕済みとなっております。その他、緊急性が認められない欠損部などがある塀の修繕につきましては、翌年度以降予算要求をしたいと考えております。

佐藤委員長　これから質疑を行います。

本田委員　所管の部分についての報告を受けましたし、それについてはいいと思うんですけども、通学路の危険箇所、ブロック塀も含めてということになるかと思うんですが、やはりそういったところの再確認が必要なのかなと思っております。先般の地震及び事故を受けて何かしら学校側にそういった危険箇所の把握のチェックというのを行ったでしょうか。

堀沢教育次長　既にご承知かと思えますけれども、総務課のほうで全市くまなくといたしますか、調査をしております。その箇所につきまして総務課のほうで図面おとしをしておりますので、内部のほうでは今後それを図面におとさせていただいて、学校、保育園関係に周知しなければならないということを考えております。ただし、物自体が個人の財産ということになりますので、なかなかその後どうするかというところにつきましては、総務課中心に協議が必要かと思えますし、うちのほうといたしましては学校に周知はいたしますけれども、個人の家庭まで全部というふうにはなかなかいかないのかなと思っております。

本田委員　ブロック塀につきましては、事故の件が大変センセーショナルだったので、今回は本当に特化して公共施設以外の個人のところも視点が going していると思えます。これに対して、個人のところについての解決はなかなか難しいと思うんですけども、ある程度事情を説明することは必要だと思うので、まず行っていただきたいと思っております。ブロック塀に今回特化しておりますけれども、改めてやっぱり交差点にしる歩道にしる、今までも行政のほうで通学路の把握はしていますけれども、改めて見直す必要もあると思うので、学校側あるいは保護者の方に改めて問い合わせることも必要だと思いますので、ご検討いただければと思っております。

梅田教育長　今本田委員が指摘されたとおり喫緊の課題になっておりまして、実は県の教育委員会から8月に入りまして一斉点検をなささいという通知が来ております。それを受けて各学校に通知していますし、今回総務課を中心に調べたブロック塀の地図おとしについても、集まり次第情報として各学校に届けたいと思っていますので、それを参考にしながら、恐らく締め切りが9月中だったと思いますので、何らかの点検をしようと思っています。

関矢委員　今ほど教育長から県の教育委員会から一斉点検ということですが、それは通学路だと思うんですけども、それについては歩道の有無だとかそういうのもみんな含むわけですか。そういうのも一斉点検の中でやるわけですか。

梅田教育長　そこについては学校には直接説明はしていませんが、これから予算要求の時期にもなってきますので、当然そういう箇所があるかと思えますので、今アドバイスをいた

だきましたので、また各学校のほうにも要望をあげていただくようにしたいと思います。
関矢委員 通学路の安全確保という面で危険箇所の一斉点検だと認識しますので、歩道がなく危険だとか、暗くて危険だとか、そういう指摘があったところも一斉点検の中で拾い上げていただければと思いますが、いかがでしょうか。

堀沢教育次長 そういったところも全て行うということで、うちのほうとしましては暗くて危険というところが多いのではないかというふうに内部では話をしておりますが、そういったところと、のり面といいますか、崖も含めた危険箇所、委員がおっしゃるように歩道関係を県に要望している箇所とかいろいろありますが、そういったところも再点検が必要かと考えております。

大平委員 ブロック塀及び危険箇所についてなんですけれども、教育次長がおっしゃったように点検をして、それぞれ学校、PTAに周知をされると。その際に危険箇所と思われるものについて、通学路の変更だとか注意喚起、何らかの看板だとか、あるいは子供たちへの周知をどのような形で行うのか。それと、これはいつどういう形で起こるかわからないという側面がありますので、今スクールガードの方がやっていたらいいんですけども、再度パトロールみたいなことも検討されるのかどうか、そこら辺はいかがでしょうか。

堀沢教育次長 通学路の変更につきましては、考えられるところであれば考えていきたいと思いますが、きっと通学路を変更するとなるとかなりの路地とか、かなりの遠回りという格好になるかと思えます。スクールガードの皆さんに協力を得ながら、学校のほうと協議をしながら今後考えていきたいと思えます。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) 本件については、以上とします。

(2) 小中学校冷房設置工事について

佐藤委員長 日程第2、小中学校冷房設置工事についてを議題とします。執行部の説明を求めます。

堀沢教育次長 小中学校普通教室の冷房設置工事につきましては、設計委託が8月に入り完了したところです。これから順次工事発注を行いまして、受電設備の取り替えを含め、工事を行うこととなります。なお、平成31年度につきましては、設計が完了しておりますので今年度末に発注準備を進めまして、年度当初早期発注をすることにより冷房を必要とする時期までに工事を完了させたいと考えています。

佐藤委員長 これから質疑を行います。

関矢委員 今ほど説明がありましたけれども、8月に冷房施設設置の設計が終わったということで、これから今年度は3階、4階ですか、その工事に入られるのか確認させてください。

堀沢教育次長 そのとおりであります。早いものにつきましては、今週末の公告に載せられるものが何本か出てくるものと考えております。一遍になりますと若干おくれるものですが、でき上がった順に順次発注をかけたいと思えます。

関矢委員 これ継続費だったと思うので、31年度については早期発注をして来年の夏には間に合わせるということだと思えるんですけども、これは全小中学校の各教室がなるということですのでよろしいでしょうか。

堀沢教育次長　ご承知のように3カ年計画ということでやっております。今年度は1年目で3階以上、来年度は2階、最終年度に若干1階部分が残るという現在の計画であります。

関矢委員　そうすると、最終年度まで残る普通教室は何校くらいありますか。

堀沢教育次長　3校が残る格好となります。内訳は、入広瀬小、小出小、小出中の3校が普通教室が1階部分にあるということになります。

大平委員　3カ年ということなんで、事業者との関連でなかなか一気にとは先ほどおっしゃったようにできないとは思いますが、やっぱり1階部分は恐らく低学年がいるのではないかと思われるんですけども、体力がない弱い子たちを重点的にというところを踏まえて考えていただければと思いますけれども、そこら辺の考え方については、3階部分、2階部分、1階部分とすばっと割っていくのか、それとも柔軟に考えていくのか、そこら辺はどうでしょうか。

堀沢教育次長　先ほど申し上げましたとおり残るところが3校ということになりますので、その部分につきましては予算要求を含め内部のほうで協議を進めたいというふうには考えております。ただし、ここでどうなるというお話はできかねるところであります。

大平委員　特別教室についてはどの学校も、全部とはいわないと思いますが、あって、現在の対応として必要に応じて暑かったら特別教室に行くような形をとるとというような話を聞いているんですけど、今後どのような考え方でいくのか、そこら辺をお伺いします。

堀沢教育次長　その辺につきましても、熱中症対策といたしまして教育長のほうからことしにつきましては各学校に直接電話で、校舎内のエアコンがある教室をうまく使用してほしいというお話をさせていただいているところであります。そういった中で、現在特別教室、いわゆるパソコンルームと称すところは入っているわけですが、その他、各学校によりまして入っている部屋、入っていない部屋さまざまあります。そういった中で必要な箇所というところにつきましては、引き続き考えていくようになると考えています。

佐藤委員長　ほかにありませんか。(なし) 本件については、以上とします。

(3) その他

・入広瀬中学校・守門中学校の統合準備状況について

佐藤委員長　日程第3、その他を議題とします。まず、入広瀬中学校・守門中学校の統合準備状況について、執行部の報告を求めます。

堀沢教育次長　8月6日に統合準備委員会全体会を開催いたしまして制服のメーカーを決定しました。メーカーの選定については、7月25日から31日まで展示会を行いました。28日には入広瀬中学校及び守門公民館の2会場でメーカーによるプレゼンを行い、保護者投票を実施して得票の多かった会社をメーカーとして選定することが承認されたものです。また、魚沼特使であり、魚沼元気の補作詞を担当していただいた喜多條忠先生に、公募した歌詞素材をお渡しして作詞を依頼していました校歌の歌詞についても、先生からすばらしい歌詞が届きまして、全会一致で決定されました。作曲については、同じく魚沼元気を作曲していただいた森下滋先生に依頼したところ、ご快諾いただき、歌詞を送り作業を進めていただいています。なお、校歌の歌詞を含めた詳細につきましては、市報9月10日号の折り込みで入広瀬・守門地域に準備委員会ニュースを配布しますので、議員の皆様にも

お渡しする予定です。

佐藤委員長　これから質疑を行います。(なし) 本件につきましては、引き続き調査することとし、本日は以上とします。

・湯之谷小学校ランチルームの結露について

佐藤委員長　次に、湯之谷小学校ランチルームの結露について、委員会でも調査してきたところですが、執行部の報告を求めます。

堀沢教育次長　学校などの非木造の建築物では、湿度が高い状況におきましては結露がみられがちです。特に新築の場合においては顕著のようです。湯之谷小学校には業者に清掃に入ってもらうこととしております。また、学校を設計した業者及び市内の設計業者に結露を防ぐよい方法についてお聞きしたところ、どちらからの回答も、建築からある程度の期間が過ぎないと収まらないということで、除湿機による対応がよいとの回答をいただいております。過去に広神中学校の技術室の結露が業務用除湿機によりまして改善した例もあることから、除湿機による対応を考えたいと思っております。

佐藤委員長　これから質疑を行います。

浅井委員　教育次長が今おっしゃいました結露の件ですけれども、大平恭児委員と私とで魚沼市内の小学校のランチルームの椅子とテーブルが低学年の体に合っていないという調査を行ったんですけれども、その際に湯之谷小学校に視察をしにいったところ、1階部分の湿気の話になり、ランチルームへ行ったところ、外気温が33度もあるのに湿度が83%もあり、湿度が高すぎて空調をつけっぱなしにしているというお話を校長先生からお聞きしました。壁に使用されている合板には白くカビがはえ、手でこすればカビが付着していましたし、校長先生がおっしゃるには給食で使用する米びつまでかびてくるとおっしゃっております。それで、ランチルームの窓を開けて換気をしても、片側はすぐ校舎でありまして、反対側はすぐに山で、思うように換気ができないそうなので、除湿の件に関しましては早急に対処してもらいたいと思います。

関矢委員　今ほど浅井委員の話によると、外気温が33度ということは真夏日ですよ。真夏日に室内が八十何%の湿度になるというのは、木造以外はいたし方ない構造なんですか。それとも何かつくっているときの設計が悪いとか施工が悪いとか、設計士に聞いたんですけれども、そういう調査はやっていませんか。

堀沢教育次長　そういった調査につきましてはやっておりますが、長岡市内の新築した学校につきましても湿気がすごい状況で、年数が過ぎないとだめだろうという話をしていたのは聞いております。

関矢委員　湯之谷小学校のランチルームだけなんです。あの1階の部分だけで、もっと西側のほうに来ると結露がないんだと思うんですが、その辺はどうなんでしょうか。

堀沢教育次長　私も聞いているところはランチルームの湿気がすごいという話は聞いていますが、湯之谷小だけではないということなんですけれども、梅雨時期とかそういったときは学校がかなり結露が出るというような話も聞いております。実際に見ているところもあります。そういったところにつきましても、廊下あたりは難しいですが、その他の広いところについては考えていきたいと思っております。

関矢委員 対策として業務用の除湿機が最善だという話ですが、かなりの大きさが要すると思うんですけども、その辺の費用というのは積算しておりますか。

堀沢教育次長 先ほど話をさせていただきました広神中学校の技術室が多分160平米くらいある広い部屋になっているかと思いますが、そこに入れた業務用の除湿機が1台と聞いております。平成24年度末の金額は押さえてあります。ですので、そのクラスが2台いるのかというところで見積もりをとってどの程度になるのか確認したいと思っております。

関矢委員 24年度末の金額がわかったら。

堀沢教育次長 確か1台二十数万だと思いました。ほかの学校の教室か何かに入れた家庭用除湿機のちょっと大きなクラスが3万ちょっとで、業務用が二十数万だったと記憶しております。

大平委員 2点伺います。1点目は、教育次長に米びつにカビがはえるのはいかななものかという話を伺った経緯があるんですけども、この対応については除湿の対応で可能なんですか。それともまた別途対応するような措置が要るんですか。

堀沢教育次長 米びつの関係につきましては、学校と協議が必要かと思っておりますが、たしか今一般的には米は学校給食会を通じて来ているということもありますので、学校とよく協議しまして、こちらで本気に対応しなければならないという格好になれば当然冷蔵庫関係から考えなければならない可能性もありますので、調査して対応したいと思います。

大平委員 湿気なんですけど、先ほどの質疑を聞いていても疑問のところがあって、浅井委員も言ったように本当に雨が降らないときに、ずっと降らなかった時期なんですよ。それなのに80%というのは異常だと思うんですよ。本当に業者の話だけでいいのかどうか少し疑問なので、例えば外部の専門家とか入れていただくことが必要じゃないかと思うんですけども、そこら辺について教育委員会はどう考えているか、ありましたら聞かせてください。

堀沢教育次長 市内の設計業者にも伺っておりますので、そんな対応まで必要かどうかはあれですけど、もう一度確認をして教育委員会内部で協議の上、また市内の設計業者、清掃業者等のお話を伺う中で対応策があれば考えたいと思います。

大平委員 広神中学校が除湿で対応したということで、そのときの状況がわかりましたら後で教えてください。どれくらいの湿度で、例えば今回みたいにカビがはえていて、除湿機を入れたらどう改善されたのかというあたり、わかりましたら教えていただきたいと思います。

堀沢教育次長 それにつきましては、帰りましたら当時の資料を確認いたしまして報告したいと思います。

本田委員 湿気の話とは少し外れますけれども、設計ミスという話の枠の中で瑕疵担保の时效は何年くらいになりますか。

堀沢教育次長 申し訳ありません。今はわかりませんので確認したいと思います。

本田委員 私の思いとしては、設計業者さんが何年かの間は湿気があると話されているようなんですけれども、もしこれ仮に何年経ってもかわらないという話であれば、完全に設計ミスという話にもなるかと思っておりますので、その辺しっかりと構えていただきたいと思っておりますし、大平委員も話をされたとおりの多角的にいろいろやってみて、挑戦して、湿気対策をきちんとやっていただきたいと思っております。

佐藤委員長　ほかにありませんか。(なし) 本件につきましては、引き続き調査することとし、本日は以上とします。

・ 広神プールについて

佐藤委員長　次に、広神プールについて、執行部の報告を求めます。

堀沢教育次長　7月中旬からの利用に備えましてプールに水を投入したところ、前日満杯に投入した水が、翌日には給水口の下まで減水していました。量からすると25メートルプール1杯分相当の水が流失したことになり、水の行方は不明、周辺を見ても陥没及び流れ出たような痕跡は見えませんでした。中途半端に使いまして、万が一陥没等の事故が発生した場合のことも想定いたしまして、今年度の使用を中止しました。広神プールの利用実態につきましては、広神中学校が授業で使用、夏休み期間中における合宿に利用、寿和温泉で行われております水泳教室の子供たちが夏休み期間中に50メートルプールの練習に利用、この3件以外はありません。その中で、水泳授業を実施している中学校は堀之内中学校と広神中学校のみです。合宿につきましても今年度申し込みはありませんでした。なお、業者から原因調査にかかる見積もりを徴しましたところ、給水口の24カ所を全て確認するための費用は約1,000万円とのことでした。しかし、あくまでもこの費用は調査費用でありまして、根本的な解決を行うための費用ではありません。原因が確認された上で、その対応措置をとることになると、調査、工事期間及び費用も含めて広神プールそのものの継続につきまして判断をさせていただくことになるかと考えます。

佐藤委員長　しばらくの間、休憩とします。

休　　憩 (10:36)

休憩中に懇談的に意見交換

再　　開 (10:38)

佐藤委員長　休憩前に引き続き会議を再開します。これから質疑を行います。

星野委員　勘違いだったら申し訳ないんですけども、ことしから北部プールしか開放がなかったと思うんですけども、その辺はいかがでしょう。

堀沢教育次長　北部だけでなく開放していると私のほうでは把握しておりました。監視員さんをそれなりにお願いしておりますので、北部だけじゃなかったと。下条も調べてみます。

大平委員　もう少しそのときの状況を聞きたいんですけど、満杯にためたその翌日ということでしょうか。

堀沢教育次長　満杯にためまして、循環の部分回したということで、翌日に25メートル相当分を流出ということですか。

大平委員　翌日の日中ということですか、朝ということですか。

堀沢教育次長　申し訳ありません。確認はとれておりません。学校のほうからの連絡で見に行っております。

大平委員　　だろろう話はしてはいけないと思いますが、ひょっとしたら誰かが意図的にということもあり得ますか。

堀沢教育次長　　あまり考えられないことではありますが、100%ないとは言い切れないんですが、ろ過部分の口から下の部分は減水しませんので、排水しているときか、排水が無事でも今度は戻すときか、どちらかで流出しているというふうに私どもは考えております。

関矢委員　　調査するか考えるということですが、中間でもいいので方向性が出たら委員会に説明していただきたいと思います。

佐藤委員長　　ほかにありませんか。(なし) 本件につきましては、引き続き調査することとし、本日は以上とします。

・うおぬま・米ねっとシステム更新について

佐藤委員長　　次に、健康課から資料が提出されておりますので、説明を求めます。

金澤健康課長　　(資料「うおぬま・米ねっとシステム更新について」により説明) 現システム導入には100%国の補助金で市町の負担はありませんでしたが、二度目の補助は認められないことから、医療だけではなく、医療介護連携システムということで4分の3を医療介護総合確保基金の対象にさせていただき、4分の1を圏域の市町で負担することとなりました。それで9月の補正予算という話でございましたが、各市町の足並みがそろわないということで12月にならざるを得ない状況でございます。全体で1億近くかかるシステムでございますが、前に入れたシステムと違いクラウド型ということになりますが、安くつくって後々使用料を払うシステムになります。大変重要なシステムでありますので、今現在のところは活用が少ないということではありますが、今後蓄積して活用を高めていくことでもありますので、魚沼市としても魚沼医療圏の中で協力してやっていきたいと考えております。今問題になっているのが十日町のつまりケアネットという介護情報連携システムがあるんですけれども、平成28年に運用開始しております、これを米ねっとの中に組み込みたいということでやったんですが、NPO事務局のほうがこれを軽視して進めたという経緯がありまして、そこでちょっともめています。私ども魚沼市としてはつまりケアネットを拡大していくということで話をしていたんですけれども、それがうまくいっていないということで足並みがそろっていないという状況であります。これを何とか足並みをそろえて12月の補正予算に計上させていただいて、来年新しいシステムに移行できるように考えています。

佐藤委員長　　これから質疑を行います。

本田委員　　新システム導入は結構だと思いますけれども、今度耐用年数は何年くらい使う見込みですか。

金澤健康課長　　今までのように5年とかということではなく、クラウド型にするということで、それを継続して使っていくことを考えています。5年で更新とかということではなく、クラウド型にしてそこにアクセスしながら使用料を払っていくということになります。バージョンを上げていくということになるとまたお金がかかりますけれども、当面の間はこのように考えています。

大平委員　　今クラウド型に変更するというので、年払いでいくと思うんですけれども、コ

スト的にはどういう形になりますか。いくらくらいになるのか。

金澤健康課長 概算ですが、年間300万円ということです。

大平委員 確認ですが、使用料のみですか。そのほかに経費負担はかかりますか。

金澤健康課長 端末については一緒に導入しますので、その端末の更新時期にはお金がかかりますが、そうでない限り年間300万ほどの使用料となります。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) 本件につきましては、引き続き調査することとし、本日は以上とします。

・行政視察について

佐藤委員長 次に、私のほうから今年度の行政視察について説明させていただきます。前回の委員会で視察先を決定いただきました。10月15日、16日、神奈川県横須賀市のエンディングプランサポート事業、東京都立川市の子ども未来センター、群馬県前橋市イングリッシュビレッジ MAEBASHI の3点と決定させていただきます。行政視察先に事前に質問事項を送付させていただきたいと思いますので、質問したい内容について9月6日までに事務局へ提出いただくようお願いします。

・その他

佐藤委員長 ほかに執行部から報告等はありませんか。

金澤健康課長 国民健康保険の繰越金が出ておりまして、その使い道等について補正予算を提出させていただく予定ですのでよろしくお願ひいたします。また、小出病院の西病棟ですけれども、現状では県から無償で貸していただいております。10月1日付けで県から無償で譲渡契約することになりましたので、情報提供させていただきます。

佐藤委員長 ほかにありませんか。(なし) 委員の皆様から協議事項等はありませんか。

浅井委員 先ほども出ましたけれども、以前湯之谷小学校を視察した際、低学年の椅子とテーブルが合っていない、ふんぞり返ったような格好で給食を食べているという件につきまして、大平委員と私で小学校のランチルームのテーブルと椅子の状況調査をしてみましたので報告させていただきたいと思います。まず、6月中旬に大平委員がランチルーム形式で昼食をとっている4小学校へお話を聞きに伺ったところ、入広瀬小学校は全ての学年が同じ高さのテーブルと椅子で昼食をとっている。一部に足が地面に付いていない状態で昼食をとっている児童もいたそうです。ほかに調整できる椅子とテーブルがあればいいと思う先生からのお話をいただきました。須原小学校につきましては、低学年用と高学年用に椅子とテーブルが分けてありまして、椅子とテーブルの高さが子供たちの体に合っているという話でした。低学年用と高学年用にテーブルと椅子を分ける形になったのは10年くらい前から行っているそうです。宇賀地小学校につきましては、全ての学年が同じ高さのテーブルと椅子、背もたれのない丸椅子。この丸い椅子に関しましては2、3年前に老朽化のために購入したそうです。養護教諭から姿勢その他について講話をいただいているという話もお聞きしました。姿勢について意識がなかったが、言われてみれば改めて考えてもよい、調整できる椅子とテーブルがあればいいと教頭先生からお話をいただきました。

次に、伊米ヶ崎小学校につきましては、椅子とテーブルの高さを低学年、中学年、高学年と若干かえているそうです。食べる姿勢は非常に大事だと星歯科医院の先生から話をいただいている。しっかりと足が付いているか、背筋が伸びているかなど体の発達にも重要だと。ほかに学習意欲、行動意欲にも影響してくるそうです。足が付かない児童につきましては、必要に応じて台を下に置くことも行っているそうです。ただし、かえる場合には、なぜかえるのかを子供たちに説明することが大切だそうです。このことに関しましては、差別や偏見につながるのではと校長先生はおっしゃっておいりました。それで、7月19日に大平委員と私とで伊米ヶ崎小学校へ校長先生とお話しに行ったところ、ランチルームの見学をさせていただきました。校長先生がおっしゃるには、伊米ヶ崎小学校のランチルームの椅子とテーブルは若干低めの設定で設置しているそうです。7月21日に大平委員と私とで堀之内庁舎にて梅田教育長、堀沢次長に今回のこの事案の報告をさせていただきました。7月23日に大平委員と私で湯之谷小学校へ校長先生と話し合いに行ったところ、できることなら1年生の机と椅子だけでも体に合ったものにしてもらいたい、またはテーブルは今のままで椅子だけ高さのある足置きの付いたものにかえてはどうかという意見をもらいました。

佐藤委員長 湯之谷小学校を委員会で視察した件がもとになるわけなんですけど、その後、教育委員会として湯之谷小学校の聞き取り等の調査は行われましたか。

梅田教育長 教育委員会の担当のほうで各学校を回って写真と聞き取りした資料について、見たことはあります。担当といろいろ話をしている中で、湯之谷小学校については、建築する前は要求としては上がってきていなかったの、私たちもその配慮をしないで入れてしまったんですが、台を置くとかいろんなことを考えてみましたが、なかなか手ごろのものがないということで、低学年用の机をかえれば椅子もかえなければいけないということで、そっくり入れ替えなければならないかねというあたりまでは話をしているところです。

本田委員 現状をお伺いしたいんですけども、全ての小学校で一堂に会してそういった食堂等で食べているということですか。教室等もありますか。

梅田教育長 浅井委員の報告があったところについては集合でランチルームですが、それ以外のところは教室で食べています。

本田委員 入り口の話で恐縮なんですけれども、一堂に会してお昼ごはんを食べるとするのは、何かしらのメリットはあるんですか。

梅田教育長 経験的にいいますと、配膳が楽ということもありますし、姿勢や食事指導など全校で一斉指導ができるということがあります。あとは、そこで集会等多目的に使っているわけですが、デメリットもあるので、必ずしもランチルームがいいとはいえないと思います。

本田委員 委員会で視察の際にお昼を一緒に食べたときに思ったんですけど、かなりわちゃわちゃしていて、今ほど教育長は一斉指導の話をされましたけど、私は向かいの子としゃべるのに夢中で、歯をみがきましょうとか静かにして食べましょうというアナウンスが全然耳に入らない状態だったんですよ。そうすると、ああいう一斉食堂というのはどうなのかなと思いました。お伺いしたいのは、一斉で食べているところは逆に教室で食べることは可能ですか。そうすればそれぞれぴったりの椅子で食べることが可能ですし、入り口として可能か不可能かをお伺いしたいんです。

梅田教育長　　そうすると今度は1階、2階、3階と配膳するためのエレベーターの施設が整っているところは各普通教室でできるんですが、そういう施設がないところについては下から3階まで児童が運搬しなければならないということがあります。

本田委員　　仮に湯之谷小学校の場合はそういう設計はされていないということでよろしいですか。

梅田教育長　　人が乗れるエレベーターはありますが、運搬用のエレベーターは付いていないはずです。

本田委員　　調査中にはありますが、委員間討議をお願いします。

佐藤委員長　　しばらくの間休憩とし、委員間討議を行います。

休　　憩（11：06）

休憩中に自由討議

- ・ P T Aの保護者会でランチルームを使うこともわかるが、児童は毎日給食で使うので、低学年を中心に高めの椅子を配置すべきである。
- ・ 児童に合ったテーブルと椅子にすべきである。
- ・ 給食時の姿勢や日常での食事の姿勢の大切さを改めて認識したほうがよい。
- ・ 教室で給食をとるようにしたほうがよい。

再　　開（11：10）

佐藤委員長　　休憩前に引き続き会議を再開します。休憩中の委員間討議で意見をいただきました。教育委員会としても調査しているということですので、本件につきましては、引き続き調査することとし、本日は以上とします。ほかにありませんか。

関矢委員　　教育委員会に資料請求をしていただきたいのですが、市内の小中学校で行われているアルペンとクロカンのスキー授業の実態、時間数やどのような方法でやっているか、資料を出していただきたいと思います。

佐藤委員長　　この件について、教育委員会で準備できますか。

梅田教育長　　わかりました。

佐藤委員長　　それでは、次回の委員会までに資料を提出していただきたいと思います。ほかにありませんか。（なし）これで、その他を終わります。本日の会議録の調製については委員長に一任をいただきたいと思います。本日の福祉文教委員会は、これで閉会とします。

閉　　会（11：12）